

安全で安心して快適に住むことが出来る、  
強さどやさしさを兼ね備えたまちづくり

一般会計

190億2,300万円

前年度比9.1%減

総額

443億7,716万円9千円

平成18年度予算編成では、本格的な自立のまちづくりに向けて「岡谷市行財政改革プラン」のスタートを念頭に、また第3次岡谷市総合計画後期基本計画3年目の年として、将来都市像「人と自然が共生する健康文化産業都市」の具現化に向けた6本の都市づくりの柱を基調とし、重点施策として3つの柱と4つの主要施策（4ページ参照）を掲げ、予算編成を行いました。

会計別では、一般会計が190億2300万円で、前年度当初予算に比べ19億1200万円、9.1%の大幅減。特別会計（湊財産区を含む）は、112億320万円で、前年度比1.1%の減となりました。病院と上下水道の企業会計は、141億5096万9千円で前年度比1.5%の減となり、総額443億7716万9千円で前年度比4.8%の減となりました。

岡谷市にとって、平成18年度は、本格的な自立のまちづくりに向け、岡谷市行財政改革プランがスタートし、市の組織機構の大改正や岡谷・塩嶺両病院の経営統合が行われるなど、まさに「改革元年」と位置づけられる重要な年です。

18年度の岡谷市の当初予算は、「集中と縮小・廃止」を基本として事務事業の見直しを徹底し、創

意と工夫、努力により、厳しい財政状況にあっても、安全に安心して快適に住むことができる、強さとやさしさを兼ね備えたまちづくりを市民総参加で進めるため、第3次岡谷市総合計画の6つの都市づくりの柱（①中核的機能を担う

拠点都市をめざして②快適で安全な定住都市をめざして③健康で生きがいをもって暮らせる福祉都市

をめざして④豊かな心とかおり高い文化を育む生涯学習都市をめざして⑤時代変化に柔軟に対応できる産業都市をめざして⑥市民と行政の連携による計画の推進）を基調に、予算編成を行いました。

予算規模は、一般会計190億2300万円（前年度比9.1%減）、特別会計112億320万円（前年度比

## 平成18年度予算一覧

会計名	予算額	前年度比較	増減率	
一般会計	190億2,300万円	△19億1,200万円	△9.1%	
特別会計	国民健康保険事業	48億5,700万円	4億6,300万円	10.5%
	地域開発事業	7億6,090万円	△6億5,400万円	△46.2%
	分収造林事業	2,260万円	△350万円	△13.4%
	霊園事業	1,420万円	△570万円	△28.6%
	老人保健事業	54億8,200万円	1億2,100万円	2.3%
	温泉事業	2,340万円	10万円	0.4%
	訪問看護事業	4,040万円	△120万円	△2.9%
	交通災害共済事業	廃止	△4,570万円	皆減
	計	112億0,050万円	△1億2,600万円	△1.1%
湊財産区一般会計	270万円	△50万円	△15.6%	
企業会計	病院事業	97億0,977.3万円	-	-
	水道事業	15億1,720.6万円	1,558.4万円	1.0%
	下水道事業	29億2,399.0万円	△8,425.3万円	△2.9%
	計	141億5,096.9万円	△2億0,964.1万円	△1.5%
合計	443億7716.9万円	△22億4,814.1万円	△4.8%	

※企業会計の予算額は、収益的支出と資本的支出の合計額。病院事業は18年度より統合。前年度比較の△印は、減額を意味します。

11%減)、企業会計141億5096万9千円(前年度比1.5%減)、総額443億7716万9千円(前年度比4.8%減)となります。

18年度予算の重点施策は、3つの柱として①市民総参加のまちづくりの推進②安全安心に係る市民生活に密着した施策の推進③子育て支援の充実を、また4つの主要施策として、「産業振興施策の

推進」「都市基盤整備の推進」「健康づくりの推進」「環境保全対策の推進」に重点的に予算配分したほか、障害者自立支援法関連事業や介護保険制度改正に伴う地域支援事業等の福祉施策、市営住宅の大規模改修事業や小学校の低学年用プール建設等の各種事業にも引き続き取り組んでいきます。

予算編成の中で、義務的経費を除いた経常経費や職員の管理職手当について、引き続き削減を図るほか、補助金・負担金についても18年度でゼロベースから抜本見直しを行うことを前提として一律10%の削減を実施します。さらに、公平性の確保と受益者負担の適正化の観点から、現在無料となっている使用料や慣例的な減免の見直しを行ってまいります。

これからも、市民のみなさんご意見やご要望が施策に反映される、市民のみなさんとともに歩む市政を実現し、市民一人ひとりが安全で安心して快適に住むことができ、強さと優しさを兼ね備えたまちづくりを市民総参加により推進してまいります。

市民のみなさんにも、我慢や負担をお願いするわけですが、行財政基盤を強化し、将来にわたって夢を描くことができるまちづくりを推進するために、特段のご理解ご協力をお願いします。

地方自治体は財政の健全性の確保に留意し、行財政改革を推進しつつ、個性と工夫に満ちた魅力あるまちの形成、循環型社会の構築、少子化対策等の課題に重点的に取



# 予算の大綱

## 歳入

歳入の主要な一般財源である市税は、前年度より3億4100万円の増と見込みました。

地方交付税は、国から交付されるお金で、使い道が制限されていません。額はその自治体の財政力などにより決められ、前年度より4億8000万円の減です。

諸収入は、ほかの収入科目に含まれない収入をまとめたもので、前年度より4億1812万6千円の減です。

市債は、建設事業など多額の財源を必要とする場合に一定のルールで借り入れるものと、減税や地方交付税の振替財源として、国の制度に基づいて借り入れるものがあり、前年度より12億2200万円の減。借り入れの返済は、歳出の公債費で計画的に償還が行われます。

国庫支出金は、公園整備事業などの特定の事業に対して、国から補助されるお金で、前年度より3億4160万5千円の減です。

地方消費税交付金は、地方消費税の2分の1が県から市に交付されるお金で、前年度より100万円の減です。

地方譲与税は、国税として徴収

した税金を、地方公共団体に財源として譲与するもので、2億1600万円の増です。

繰入金金は、前年度より2450万円の減です。

使用料および手数料は、公共施設などの使用料や各種行政サービスに関わる手数料等で、前年度より124万3千円の増です。

## 歳出

民生費は、障害者自立支援法関連事業費、介護保険地域支援事業の増等のため前年比29%の増です。

商工費は、中小企業金融対策費の減等のため前年比29%の減です。

公債費は、借換債分の減等のため前年比22・0%の減です。

土木費は、岡谷駅南土地地区画整理事業、加茂団地耐震改修事業の減等のため前年比11・7%の減です。

教育費は、北部中学校南校舎耐震改築事業費の減等のため前年比19・5%の減です。

総務費は、(株)やまびこスケートの森貸付金の減等のため前年比21・3%の減です。

衛生費は、病院事業会計負担金の増等のため前年比19%の増です。具体的な事業を、6・7ページに基調別にご紹介します。

## 予算編成6つの基調 (第3次岡谷市総合計画の6つの柱)



中核的機能を担う拠点都市をめざして(都市基盤整備の推進)

### 平成18年度 予算重点施策 3つの柱

- ①市民総参加のまちづくりの推進
- ②安全安心に係る市民生活に密着した施策の推進
- ③子育て支援の充実

豊かな心とかおり高い文化を育む生涯学習都市をめざして(教育文化の振興)



快適で安全な定住都市をめざして(生活環境整備の推進)

時代変化に柔軟に対応できる産業都市をめざして(産業の振興)



### 4つの主要施策

- 「産業振興施策の推進」
- 「都市基盤整備の推進」
- 「健康づくりの推進」
- 「環境保全対策の推進」

市民と行政の連携による計画の推進(財源の重点的、効率的配分、一般行政経費の抑制、健全財政の保持)

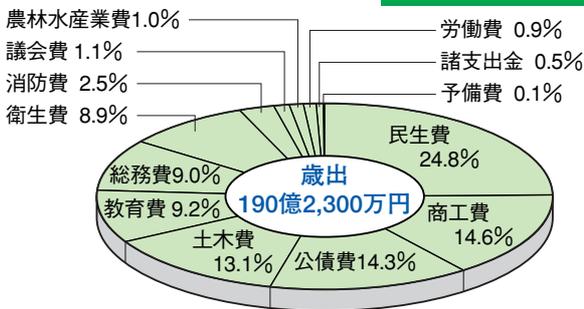


健康で生きがいをもって暮らせる福祉都市をめざして(健康福祉の推進)

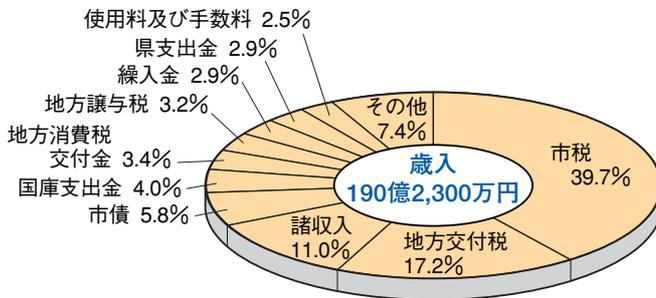


# 一般会計

## 歳出



## 歳入



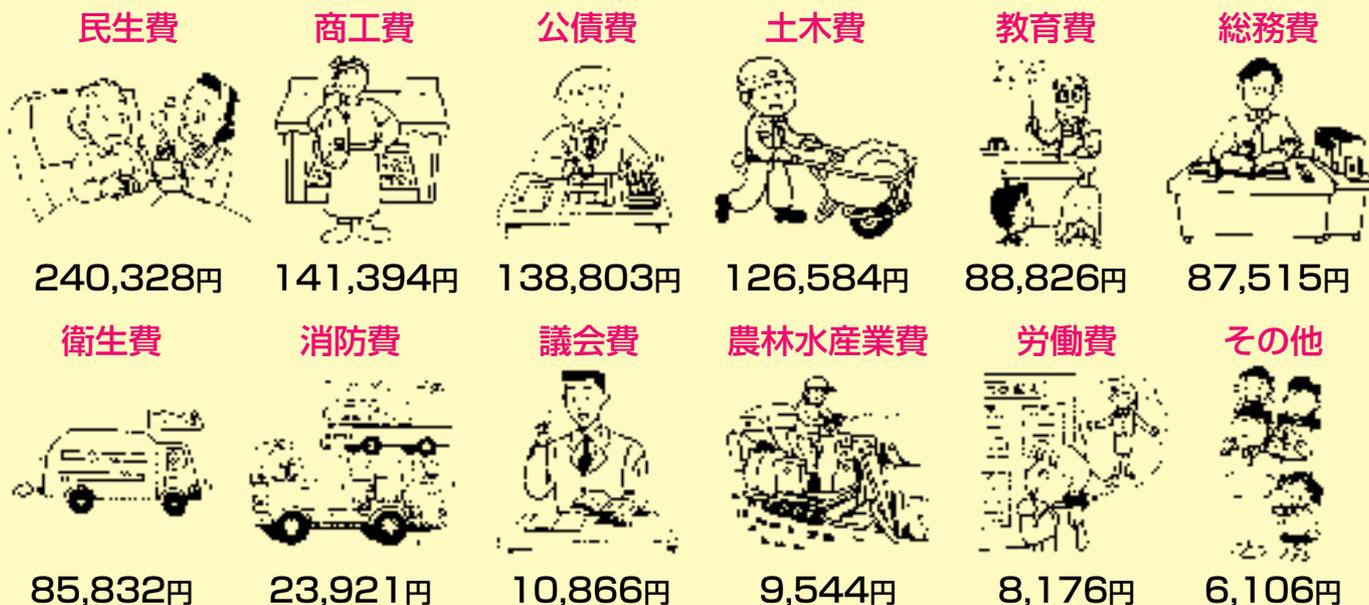
区分	予算額	構成比	前年度比
民生費	47億2,340.6万円	24.8%	2.9%
商工費	27億7,897.3万円	14.6%	△2.9%
公債費	27億2,803.5万円	14.3%	△22.0%
土木費	24億8,788.8万円	13.1%	△11.7%
教育費	17億4,578.2万円	9.2%	△19.5%
総務費	17億2,002.1万円	9.0%	△21.3%
衛生費	16億8,694.6万円	8.9%	1.9%
消防費	4億7,013.6万円	2.5%	0.7%
議会費	2億1,355.1万円	1.1%	△0.8%
農林水産業費	1億8,757.8万円	1.0%	△2.3%
労働費	1億6,068.4万円	0.9%	△3.4%
諸支出金	1億円	0.5%	0.0%
予備費	2,000万円	0.1%	0.0%
合計	190億2,300万円	100%	△9.1%

区分	予算額	構成比	前年度比
市税	75億5,000.0万円	39.7%	4.7%
地方交付税	32億7,000.0万円	17.2%	△12.8%
諸収入	20億9,921.8万円	11.0%	△16.6%
市債	11億1,160.0万円	5.8%	△52.4%
国庫支出金	7億6,188.1万円	4.0%	△31.0%
地方消費税交付金	6億4,000.0万円	3.4%	△0.2%
地方譲与税	6億0,300.0万円	3.2%	55.8%
繰入金	5億5,450.0万円	2.9%	△4.2%
県支出金	5億5,420.0万円	2.9%	18.3%
使用料及び手数料	4億7,963.4万円	2.5%	0.3%
その他	13億9,896.7万円	7.4%	△16.0%
合計	190億2,300万円	100%	△9.1%

※その他には、分担金及び負担金、繰越金などが含まれています。

## ◆市民1世帯当たりで使われるお金

合計 967,895円 (参考：市税1世帯当たり 384,146円)



= 平成18年2月1日現在の世帯数 19,654世帯で計算 =

# 平成18年度予算6つの基調（主な事務事業）

▷印は継続事業 ●印は新規事業 ■印は重点施策（※1万円未満は四捨五入してあります）

## 1 中核的機能を担う拠点都市をめざして

- 岡谷駅前再整備コーディネート事業 522万円  
岡谷駅前再開発ビルの再整備に向け、具体的な事業実施に向けた調査計画を行います。
- ▷岡谷駅南土地地区画整理事業 8,003万円  
公共用地の土地利用を検討し、整地工事を進めます。
- ▷岡谷湖畔公園整備事業 4,564万円  
イベント・スカイスポーツゾーンの20年度の完成をめざして、引き続き整備を進めます。
- ▷湖畔若宮土地地区画整理事業 1,508万円  
活性化された良好な市街地形成をめざして、粘り強く合意形成に努めます。



（平成17年8月撮影）

## 2 快適で安全な定住都市をめざして

- ▷公共施設の耐震改修の実施 1億5,877万円  
川岸小学校の第1体育館の耐震改修工事、東部中学校の第2体育館の耐震補強工事等を実施します。
- 地震被害軽減対策事業 400万円  
地震時の家具類の転倒による被害を防止するため、高齢者や障害のある方がいる世帯等に優先して家具転倒防止器具を配布します。
- ▷災害時要援護者登録事業 30万円
- 大規模地震災害対策用活動資機材整備事業 47万円  
各消防団屯所へ災害救助資機材を計画的に配備します。
- 自動対外式除細動器（AED）導入事業 126万円  
市内4中学校に自動対外式除細動器を配備し、心室細動等が発生した場合の緊急時に備えます。
- 救急高度化推進事業 68万円
- 岡谷市・山梨大学包括協定「水資源有効活用研究事業」 1,600万円
- 警察直通緊急通報システム導入事業 217万円  
保育園、幼稚園、まゆみ園に警察直通緊急通報システムを導入し、不審者等から園児の安全を確保します。
- ▷第4次道路整備5カ年計画事業 4億8,450万円
- ▷都市計画道路 東町線整備事業 2億9,138万円
- ▷都市計画道路 東堀線整備事業 7,605万円
- 塩嶺小鳥の森整備事業 2,000万円
- 防犯灯用蛍光球配布事業 24万円
- 高齢者向け優良賃貸住宅整備事業補助金 3,000万円
- 自然エネルギー有効活用推進事業補助金 630万円
- アレチウリ駆除事業補助金 36万円
- 一般家庭生ごみリサイクルモデル事業 600万円
- 湖北衛生センター修繕負担金 1,133万円
- ▷湖北火葬場建替え整備事業 1,119万円
- ▷湖周地区ごみ処理施設整備事業 1,440万円
- ▷小井川浄水場排泥処理施設整備事業 1億3,640万円



## 3 健康で生きがいをもって暮らせる福祉都市をめざして

- ▷保育園整備事業 270万円  
神明保育園の大規模修繕に向けて実施設計を行います。
- 岡谷市・山梨大学包括協定「市民健康づくり事業」 1,632万円

●子育て支援保育料見直し減額事業（歳入の減額）

5,322万円

▷にこにこ子育て支援事業（拡大）

466万円

あやめ保育園に加え、みなと保育園でも新たに実施し、地域の子育てを支援します。

▷保育補助員設置事業（拡大）

190万円

新たに4園に、高齢者の保育補助員を配置します。



●お気軽ファミリー健康講座

35万円

●乳幼児医療費無料化対象拡大事業

1億2,979万円

4月の診療分より、乳幼児の外来分を就学前まで無料化を拡大し医療費負担を軽減します。

●障害者自立支援法関連事業

3億7,978万円

障害者の自立した生活を支援するため、介護給付等の福祉サービスや自立支援医療等の給付を実施します。

●地域支援事業（介護保険制度の改正）

1億5,393万円

総合的な相談窓口機能、介護予防マネジメント、包括的・継続的マネジメントの支援機能を持つ「地域包括支援センター」を設置します。

▷健康診査委託事業（検査内容の充実）

2,217万円

## 4 豊かな心とかおり高い文化を育む生涯学習都市をめざして

▷小学校低学年用プール建設事業

6,274万円

低学年の児童が水を怖がらずに水泳を行える専用プールで、18年度は湊小学校・小井川小学校への整備を行います。

▷学童クラブ施設整備事業（川岸小学校）

300万円

●市営岡谷球場環境整備事業

0万円

「緑の募金」還元金の一部を活用し、市民総参加で球場の法面等に樹木の植栽を実施します。

●元気な学校林プロジェクト推進事業

40万円

●岡谷小学校自立支援学級新設事業

132万円

●森の自然学校（ネイチャースクール）開催事業

31万円

塩嶺野外活動センターを拠点とした森の自然学校を開催し、自然体験活動など様々な体験活動の機会を創出します。



## 5 時代変化に柔軟に対応できる産業都市をめざして

●成功報酬型企業誘致事業

500万円

湯殿山など遊休土地に市外企業の誘致を成功した場合、誘致した事業者等に成功報酬を支払い、工業の一層の振興を図ります。

●中小企業都市サミット開催事業

1,627万円

10月に岡谷市で「中小企業都市サミット」を開催し、「ものづくりのまち岡谷」を全国に発信し、中小企業の振興を図ります。

▷岡谷市・山梨大学包括協定事業

「ナノ加工融合プロジェクト」

1,525万円

●検査・分析ルーム設置事業

110万円

市内企業が保有していない分析装置、検査装置の寄贈を受け、ラオカヤ1階に「岡谷市新素材開発実験室」を設置し、地域産業の活性化に活用します。

●ショーウィンドウ等改装事業補助金

500万円

商店街の暗いシャッター通りを解消し、昼夜とも魅力あふれる賑わいある街並み形成を図ります。

▷TMO設立運営事業負担金

750万円

▷岡谷市商工業振興条例助成補助金

4,135万円

## 6 市民と行政の連携による計画の推進

●市民総参加のまちづくりサロン開設事業

5万円

市民のみなさんがテーマに基づき自由に発言できる場（市民総参加のまちづくりサロン）を開設します。

●わくわくするまちづくり推進事業補助金

400万円

市民自ら企画し実施する事業や地域の個性的で特色のある事業を支援する補助金を創設します。